

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス あるふぁー板宿		
○保護者評価実施期間	2025年 4月1日		～ 2026年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○従業者評価実施期間	2025年4月1日		～ 2026年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数) 4名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月27日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・クッキングなどプログラム内容	タイムスケジュールと誰がどのお子様の対応をするか打ち合わせを行っている	来所されるお子様にあったプログラムを提供する(簡単すぎず、難しすぎず)お子様同士でコミュニケーションが図れるプログラムの立案をし、実践する。
2	・絵カードや写真を使った視覚的支援 ・タイマーを使用した聴覚支援	・日付、曜日、天気がわかるようにホワイトボードに提示している。 ・帰りの送迎で、自分が誰との車で何時に帰るのか提示している。(職員、お子様の顔や車の写真) ・タイマーが鳴ったら次の行動へ移せるようにお子様たちに声掛けを行っている。	・1日=ついで、など日付の読み方の習得ができるようにお子様読み方を繰り返し伝える。 ・タイマーの支援も引き続き行いながら、室内にある時計を見て行動に移せるお子様を増やせるよう時計の読み方を伝えていく。
3	・お子様の情報共有	・翌日の朝にミーティングを毎朝実施。前日の振り返りと当日の打ち合わせを行っている。 ・お子様の変化など親御さんや学校の先生から伺ったことはパートの職員へもきちんと共有を行っている。	・引き続き毎朝のミーティングを実施する。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・職員個々のお子様に対する目配りや気配り	・衝動的に行動するお子様が多いので次の行動の予想が難しく、手を差し伸べたときに手遅れになることがある。 ・職員が目の前でお子様の見守りを行っていても、危険な行動をとろうとしたり失禁があるなど別の職員が気づくのできちんと見守りができていないことがある。	・今見ているお子様から放れる際には職員へ声掛けをし、対応を変わってもらおうようにする。
2	・SNSやホームページなどで日々の活動の更新	・日々の活動の様子をInstagramに更新する頻度が低い。	・ホームページや広告で保護者様が興味、関心を持ってもらえるような色合い、文言含め内容の工夫が必要。
3	・親御さん、学校の先生、地域の方々との連携	・サービス担当者会議や地域の協議会などの機会が少ないのでお子様の情報共有が難しい。	・会議の案内がきた際には積極的に参加し、情報共有を行い、今後の支援に活かしていく。